

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	太田保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

令和 元 年 11 月 18 日

総 評	<p>太田保育園は昭和55年、亀岡市の中心部より西に位置する農村地域に開園しました。設置主体である愛嶺福祉会という法人名は、「博愛・人類愛」の象徴として、「広々とした景色と共に子どもたちが生き生きと育つように」との理念を表しています。</p> <p>「暖かな家庭的雰囲気の中で 自然に親しみ丈夫な身体と 豊かな心を持った 明るい子どもを育てる」という基本方針のもと、「愛情 親切 誠意」を信条に、一人一人の子どもを大切に保育することを実践の中心に据えています。</p> <p>保育の記録は、クラスごとに過去3年分が閲覧できるように整理され、実践を行う保育者とその指導に当たる管理者との日常的なやり取りや毎月の評価・反省を通して丁寧に記録されています。日々の保育内容は、ドキュメンテーションによって写真や文書で説明し、保護者に伝わるよう取り組んでいます。</p> <p>管理者は毎月、全ての職員と面談を実施しており、要望を聞いたり、感謝を述べたり等、法人の理念を念頭にチーム・ワークが醸成されるよう努めています。また、外部講師を招いての園内研修、公開保育等の取り組みを通じて、継続的に日々の保育実践が適切に行われるよう努めています。</p> <p>これらの保育実践について、標準的な実施方法や保育に関連するマニュアル等を整備し、恵まれた周辺の環境や園環境を活かし、さらなる充実・発展を図られることを期待します。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 保育内容は、専門講師等による定期的な園内研修の充実を図り、継続的な学びをベースに、子ども一人一人を大事にした保育を展開しています。特に造形活動に力を入れており、園児一人あたり毎月2作品を制作しています。 園の保育理念に沿った全体的な計画が編成され、それに基づいて指導計画を作成しています。月案の評価・反省を毎月実施しており、翌月の指導計画にその内容を反映させています。週日案について評価・反省を行い、日々の保育が園の方針に沿った内容となるよう取り組んでいます。 園に隣接する畑で野菜を育てており、栽培から収穫までを体験しています。その食材を活かしたクッキング保育や魚をさばく様子を園児の前で行うなど、食材など食事に興味を持てるよう工夫しています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 中・長期計画を現在は策定していません。単年度の計画は行事を中心に策定されていますが、今後は、事業実施に対する数値目標や具体的な成果等を明記するなど、具体的な事業計画を策定し、その内容を職員・保護者に発信されるとより良いでしょう。 保育についての標準的な実施方法は文書化されていません。今後は、保育に関する基本的なマニュアルを文書化されるとより良いでしょう。 第三者評価を受診しない年度であっても、同じように施設全体の自己評価に取り組み、改善に繋がれるとより良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	太田保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	2019年11月18日

I 福祉サービスの基本方針と組

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	a
			[自由記述欄]		
<p>・園の理念、保育方針、目指す子ども像、信条が明文化され、年度初めの会議で職員に周知しています。保護者には入園時や行事などの機会でも周知すると共に「園のしおり」に掲載しています。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	b
			3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
[自由記述欄]					
<p>・理事会・評議員会や会計士との間で定期的に経営状況や課題について話し合い、情報の共有に努めています。今後は、現在口頭でのやりとりで行っている法人が位置する地域の特徴や保育ニーズ等の変化に対応して、法人としてどのように取り組んでいくかを明示し、職員を含めて法人間で共有されるとより良いでしょう。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c	c
			5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	c	b
			7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	c
[自由記述欄]					
<p>・中・長期計画を現在は策定していません。単年度の計画は行事を中心に策定されていますが、今後は、事業実施に対する数値目標や具体的な成果等を明記するなど、具体的な事業計画を策定し、その内容を職員・保護者に発信されるとより良いでしょう。単年度の行事を中心とした計画については、組織的に評価・見直しを実施し、保護者にも周知しています。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	a
			9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	c
[自由記述欄]					
<p>・管理者は、月1回の全体職員会議、乳幼児のリーダー会議、各年齢チーフ会議に出席し、方針に沿った保育が実践されるよう取り組んでいます。また、行事ごとの反省会を開催し、内容について管理者と共に振り返るようにしています。日々の保育内容については毎夕に夕礼の実施と、月曜日に朝礼を実施、情報共有に努めています。</p> <p>・第三者評価は、3度目の受診であり、受診に際し管理者だけでなく職員参画のもと取り組み、結果を踏まえ、指導計画等に反映させています。今後は、第三者評価を受診しない年度であっても、同じように施設全体の自己評価に取り組み、改善に繋がれるとより良いでしょう。</p>					

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	a
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	b
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	a
[自由記述欄]					
<p>・施設長として、利用者の目線に立った運営を心がけ、日々の保育内容が園の方針に沿ったものとなるよう取り組んでいます。また、毎月、パート職員を含む全職員と面談し、職員の要望に対する改善や園の思いの周知だけでなく、職員の状態などについても気にかけるよう努めています。</p> <p>・遵守すべき法令等について職員に口頭で伝えるようにしています。今後は、職員が把握しやすいようにファイル化するなど、具体的な取り組みを行うとより良いでしょう。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	b
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	b
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	a
[自由記述欄]					
<p>・人員体制や人事基準に対する考え方が管理者間で共有されています。今後は、それらの仕組みを具体的に明示し、職員等に周知されるとより良いでしょう。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	a
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	a
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	b
[自由記述欄]					
<p>・職員一人一人の自己評価を年2回実施し、目標なども含めて面談を通して、育成に繋がるよう取り組んでいます。</p> <p>・京都府保育協会のキャリアアップ研修を中心に園外研修に職員を参加させています。また、専門の講師を呼んで定期的に保育内容について見直しができるよう、園内公開保育を数回に分けて実施し、パート職員も含めて全員が参加できるよう取り組んでいます。</p> <p>・実習生の受け入れを毎年実施し、養成校の実習簿をもとに計画を立てています。今後は、現在参考にして京都府保育協会の実習マニュアルをもとに、園独自の実習生受け入れマニュアルを整備し、意義や方針、計画案などの基本となるものを充実させるとより良いでしょう。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-3 運営の透明性の確保	Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	b
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	b
[自由記述欄]					
<p>・財務諸表や定款等については、ワムネットで公表しています。今後は、現在進めている法人ホームページの作成によって、理念や保育内容等を公開するとより良いでしょう。</p> <p>・会計士と定期的に経営・運営について相談し、助言を得ています。今後は、公認会計士等による外部監査を実施し、事業、財務に関するチェックを実施するとより良いでしょう。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	a
		24	② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	b
	Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	a
	Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	a
		27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c	b
[自由記述欄]					
<p>・未就園児を対象とした子育て支援センター事業として専用の部屋があり、子育て相談、園庭開放、子育て講座、食育教室などの実施や高齢者施設との交流など、地域の子育て家庭や在園児の親子に対して支援活動を行っています。また、体育遊び、ドラム教室、パレエ教室、ピアノ教室などに施設を提供し、在園児や卒園児だけでなく、地域の子どもたちも利用しています。</p> <p>・ボランティア等の受け入れは、中高生の職場体験を中心に実施しています。今後は、受け入れについてのマニュアルを整備されるとより良いでしょう。</p>					

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	a
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	c	b
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	a
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	a
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b

[自由記述欄]

- ・児童憲章「子どもの最善の利益とは」や保育所保育指針の要点、園の方針を全職員に配布・説明を行い、子ども一人一人の人権尊重について周知に努めています
- ・個人情報保護に関する規程及びプライバシーポリシーを作成しています。今後は、それらをもとに、職員がいつでも確認出来るようにすると良いでしょう
- ・利用者希望者に対し随時見学を受け付けると共に、園のパンフレットやドキュメンテーションを見てもらいながら保育内容等について丁寧に説明するようにしています。
- ・転園の際は、文書と口頭による引き継ぎを実施しています。今後は、その内容を記載した文書を作成し、保護者に周知するとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	b
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	b
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	b

[自由記述欄]

- ・苦情解決の仕組みが整備されており、普段の要望等についても全園児に連絡帳があり、意見や要望が言い合えるよう取り組んでいます。今後は、苦情解決の仕組みを園内に掲示すると共に、保護者アンケート(匿名)を実施するなど、意見が述べやすい環境を整備されるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	b
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	b
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	a
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	b

[自由記述欄]

- ・遊具などの安全点検チェックを毎月実施すると共に、ヒヤリハット報告を全職員から毎月受け取るようにし、事故防止に繋げています。今後は、リスクマネジメントに関する委員会を設置し定期的に開催するなど、取り組むとより良いでしょう。
- ・感染症予防の為の特定の状態に対するマニュアルはありますが、全体としてのマニュアルを整備し、職員周知に努めるとより良いでしょう。
- ・災害時の対応体制が整備され、災害発生時の安否確認の方法が職員間で周知されています。不審者侵入時の対応マニュアルが整備されています。今後は、警察等と連携し、研修を実施されるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	c	c
		41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c	c
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	b
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	a
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b	a
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	c	b

[自由記述欄]

- ・保育についての標準的な実施方法は文書化されていません。今後は、保育に関する基本的なマニュアルを文書化されるとより良いでしょう。
- ・子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容に活かされています。発達記録の内容は、毎月、管理者によって評価・反省が行われ、保育の内容に活かされるよう取り組んでいます。短期指導計画や発達記録等については、管理者による細やかな指導を心がけており、記述に関する基本から表現などについてもより良くなるよう取り組んでいます。今後は、それらの内容を踏まえうえで、特に乳児については個別の研修計画を充実させるとより良いでしょう。
- ・子どもの身体状況や生活状況等を定められた書式により、記録・管理しています。管理規程・文書規程も定められています。今後は、これらの管理規程・文書規程の内容が職員間で共有されるよう工夫されるとより良いでしょう。

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	a	a
		47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	a
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	a

[自由記述欄]

・園の保育理念に沿った全体的な計画が編成され、それに基づいて指導計画を作成しています。月案の評価・反省を毎月実施しており、翌月の指導計画にその内容を反映させています。週日案について評価・反省を行い、日々の保育が園の方針に沿った内容となるよう取り組んでいます。今後は、保育課程の名称を保育所保育指針の改定に伴い「全体的な計画」と改めて下さい。

・園内には、季節の花や、園児の造形物を飾ったり、園庭には色々な木を植えるなど、心地よく過ごせるよう配慮しています。また、各保育室には畳やマットなどのコーナーがあり、各年齢に応じた環境作りに努めています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a

[自由記述欄]

・保育内容は、専門講師等による定期的な園内研修の充実を図り、継続的な学びをベースに、子ども一人一人を大事にした保育を展開しています。特に、造形活動に力を入れており、園児一人あたり毎月2作品を制作しています。各保育室には押入れのような空間やコーナー遊びのスペースを整備し、発育に応じた手作りのおもちゃや、ブロック、カード、粘土に楽器など、思い思いの遊びが展開できるようにしています。また、幼児組はとこなげ山に登山するなど色々な体験が出来るよう配慮しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	a
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a

[自由記述欄]

・年2回の内科健診、年1回の歯科健診、眼科健診も実施しています。その内容は、文書で保護者に通知すると共に、職員間でも共有し保育に有効に反映されるよう努めています。

・園に隣接する畑で野菜を育てており、栽培から収穫までを体験しています。その食材を活かしたクッキング保育や、魚のさばく様子を園児の前で行うなど、食材など食事に興味を持てるよう工夫しています。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	b
	A-2-(2) 保護者の支援	63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	b
	A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	a

[自由記述欄]

- ・連絡帳等により日常的な情報交換を実施しています。今後は、書き方について基準を定めるなど、工夫されるとより良いでしょう。
- ・関係機関と連携し、虐待等の疑いがある子どもの早期発見・早期対応に努めています。今後は、虐待防止マニュアルを整備されるとより良いでしょう。